

ナポレオン (1926)

NAPOLEON

メディア 映画
ジャンル 歴史劇 ドラマ 伝記
製作国 フランス
色彩 B&W
時間 240分
初公開日 不明
リバイバル 1982/10 [フジテレビ=ヘラルド・エース]

【解説】

フランシス・フォード・コッポラの総指揮のもと、半世紀を経て蘇ったA・ガンスの歴史大作である。オリジナルは12時間にも及ぶという。“トリプル・エクリン”というシネラマの先駆と呼べるような、3台の映写機を駆使した映像はモノクロの無声映画としても大変な迫力。時に分割され、多層的な効果を生む話法も画期的。これにコッポラは父カーマイン作曲のスコアをつけ、父自身の指揮によるフル・オーケストラの伴奏付きで各国を巡業した。当然、入場料も高く、1万円以上もした。残念ながら、ビデオで観るとマルチ画面の迫力は、十分に伝わりとは言い難い。英雄ナポレオンの寄宿学校での少年時代に始まり、輝かしいイタリア遠征の勝利で終わる前半生をつづった作品で、合戦シーンのダイナミックさが眼目だが、少年期のなにげないエピソードにも、画面分割による描写は効果をあげている。

【クレジット】

監督	アベル・ガンス	Abel Gance
脚本	アベル・ガンス	Abel Gance
撮影	ジュール・クリュージェ	Jules Kruger
音楽	アルトゥール・オネゲル	Arthur Honegger
出演	アルベール・デュードネ	Albert Dieudonne
	ジナ・マネス	Gina Manes
	アレクサンドル・クービツキー	Alexandre Koubitzky
	アナベラ	Annabella
	シュザンヌ・ビアンケッティ	Suzanne Bianchetti
	ダミア	Damia
	アントナン・アルトー	Antonin Artaud
	ピエール・バチエフ	Pierre Batcheff